

## 調査結果の分析

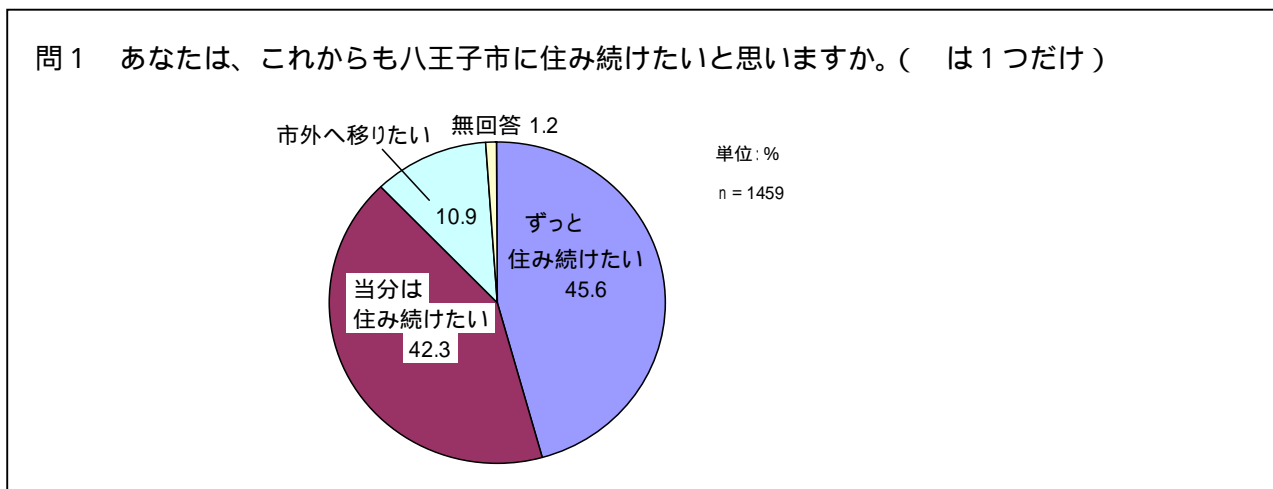
---

# 第 1 章

# 1 定住意向

## (1) 定住意向

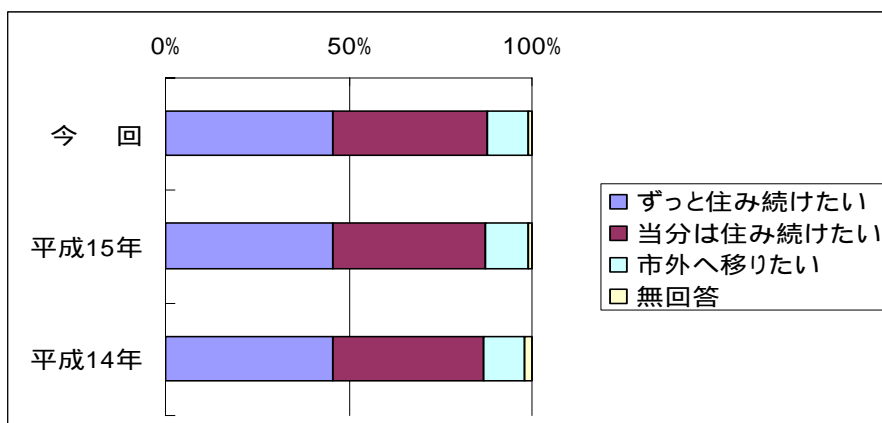
“住み続けたい”が約9割と多数を占める



市への定住意向では、八王子市に「ずっと住み続けたい」(45.6%)が最も多く、「当分は住み続けたい」(42.3%)を合わせると87.9%と、“住み続けたい”が9割近くを占めている。他方「市外へ移りたい」という人は10.9%と、約1割となっている。

### 【時系列比較】

(単位: %)	ずっと住み続けたい	当分は住み続けたい	市外へ移りたい	無回答
今回(n: 1,459)	45.6	42.3	10.9	1.2
平成15年(n: 1,717)	45.4	41.9	11.5	1.1
平成14年(n: 1,742)	45.5	41.4	11.1	2.0



「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせると、毎年徐々に増加する傾向にある。また、「市外へ移りたい」は、今回は昨年度と比べ減少している。

\* 上段...人数（単位：人） 下段...構成比（単位：%）

		全体	ずっと住 み続けたい	当分は住 み続けたい	市外へ移 りたい	無回答
合計		1459 100.0	666 45.6	617 42.3	159 10.9	17 1.2
F1 性別	男性	636 100.0	289 45.4	282 44.3	59 9.3	6 0.9
	女性	790 100.0	362 45.8	320 40.5	99 12.5	9 1.1
F2 年齢	20歳代	175 100.0	32 18.3	100 57.1	42 24.0	1 0.6
	30歳代	269 100.0	76 28.3	155 57.6	38 14.1	0 0.0
	40歳代	225 100.0	76 33.8	115 51.1	32 14.2	2 0.9
	50歳代	291 100.0	145 49.8	120 41.2	20 6.9	6 2.1
	60～64歳	169 100.0	115 68.0	44 26.0	9 5.3	1 0.6
	65歳以上	298 100.0	206 69.1	70 23.5	16 5.4	6 2.0

#### 【性別】

男性に“住み続けたい”という回答がやや多く見られ、女性を3.4ポイント上回っている。

#### 【年齢別】

「ずっと住み続けたい」という回答の割合は年齢が上がるほど増加しており、特に50歳代の49.8%から60～64歳では68.0%と、20ポイント近く急激に増えている。

また「当分は住み続けたい」と合算した“住み続けたい”では、20歳代では約75%であるが、30歳代で8割を超え、50歳代以上では9割を超えている。

「市外へ移りたい」との回答は、20歳代の24.0%から急激に減少し、50歳代以上では5%前後の割合となっている。

【居住地域別】

\* 上段...人数（単位：人） 下段...構成比（単位：％）

		全体	ずっと住 み続けた い	当分は住 み続けた い	市外へ移 りたい	無回答
合計		1459 100.0	666 45.6	617 42.3	159 10.9	17 1.2
F9 居住 地域	本庁管内（中央地 域）	331 100.0	158 47.7	132 39.9	35 10.6	6 1.8
	元八王子・恩方・ 川口（西部地域）	237 100.0	121 51.1	83 35.0	31 13.1	2 0.8
	浅川・横山・館 （西南部地域）	288 100.0	147 51.0	120 41.7	18 6.3	3 1.0
	加住・石川（北部 地域）	110 100.0	51 46.4	36 32.7	21 19.1	2 1.8
	由井・北野（東南 部地域）	216 100.0	95 44.0	93 43.1	27 12.5	1 0.5
	由木・由木東・南 大沢（東部地域）	242 100.0	79 32.6	140 57.9	22 9.1	1 0.4

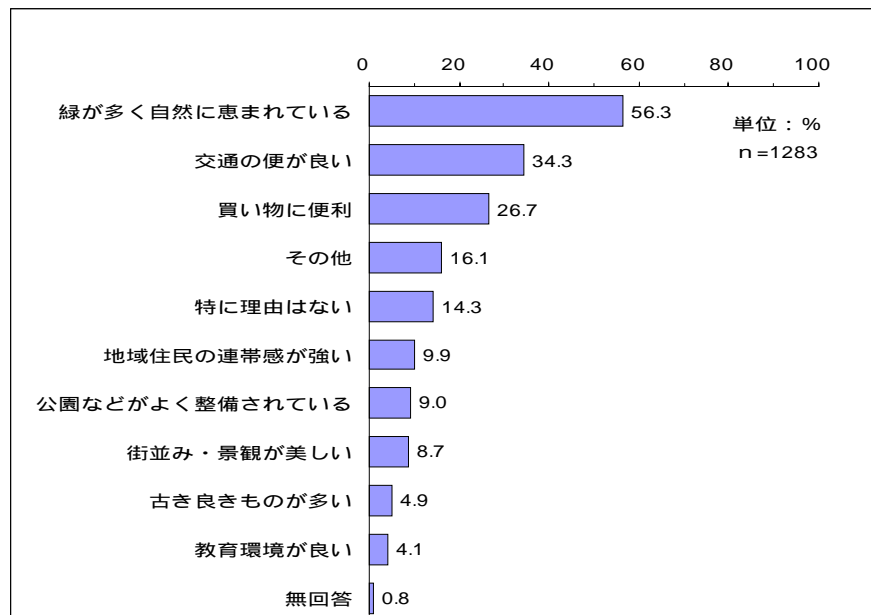
「ずっと住み続けたい」は元八王子・恩方・川口（西部地域）と浅川・横山・館（西南部地域）が半数を超え高く、本庁管内（中央地域）が僅差で続いている。

「当分は住み続けたい」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で、また「市外へ移りたい」は加住・石川（北部地域）で、それぞれ他の地域と比べて高い傾向にある。

## (2) 住み続けたい理由

「緑が多く自然に恵まれている」が半数を超え突出

(問1で、「1 ずっと住み続けたい」または「2 当分は住み続けたい」とお答えの方に)  
問1-1 住み続けたい主な理由は何ですか。( は3つまで)



住み続けたい理由としては、「緑が多く自然に恵まれている」からという答えが56.3%と最も多く、6割弱を占めている。

第2、3位の理由はそれぞれ「交通の便が良い」(34.3%)から、「買い物に便利」(26.7%)だから、となっている。

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	緑が多く自然に恵まれている	交通の便が良い	買い物に便利	地域住民の連帯感が高い	教育環境が良い	古き良きものが多い	街並み・景観が美しい	公園などがよく整備されている	その他	特に理由はない	無回答
合計		1283	722	440	343	127	53	63	112	116	206	184	10
		100.0	56.3	34.3	26.7	9.9	4.1	4.9	8.7	9.0	16.1	14.3	0.8
性別	男性	571	311	192	141	47	15	28	51	55	93	89	5
		100.0	54.5	33.6	24.7	8.2	2.6	4.9	8.9	9.6	16.3	15.6	0.9
性別	女性	682	397	239	197	77	36	35	56	56	110	89	5
		100.0	58.2	35.0	28.9	11.3	5.3	5.1	8.2	8.2	16.1	13.0	0.7
年齢	20歳代	132	59	56	30	9	3	4	17	9	30	22	1
		100.0	44.7	42.4	22.7	6.8	2.3	3.0	12.9	6.8	22.7	16.7	0.8
	30歳代	231	115	75	54	12	13	5	22	19	60	27	0
		100.0	49.8	32.5	23.4	5.2	5.6	2.2	9.5	8.2	26.0	11.7	0.0
	40歳代	191	109	57	50	16	14	11	13	20	32	31	2
		100.0	57.1	29.8	26.2	8.4	7.3	5.8	6.8	10.5	16.8	16.2	1.0
	50歳代	265	164	89	74	20	8	10	28	21	37	37	4
	100.0	61.9	33.6	27.9	7.5	3.0	3.8	10.6	7.9	14.0	14.0	1.5	
年齢	60~64歳	159	107	52	48	22	3	11	5	16	21	18	0
		100.0	67.3	32.7	30.2	13.8	1.9	6.9	3.1	10.1	13.2	11.3	0.0
年齢	65歳以上	276	152	102	84	45	9	21	22	27	23	45	3
		100.0	55.1	37.0	30.4	16.3	3.3	7.6	8.0	9.8	8.3	16.3	1.1

【性別】

多くの選択肢で女性のポイントが男性を上回っているが、「街並み・景観が美しい」及び「公園などがよく整備されている」では、男性のポイントの方が女性を上回っている。男性では女性よりも「街並み・景観」や「公園の整備状況」を重視していることが分かる。

【年齢別】

「地域住民の連帯感が強い」は、60～64歳と65歳以上で10%を超え、ポイントが高くなっている。

また、「教育環境が良い」は、30歳代及び40歳代の回答者で、他の年代よりも2～3ポイント高くなっている。

【居住地域別】

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	緑が多く自然に恵まれている	交通の便が良い	買い物に便利	地域住民の連帯感が強い	教育環境が良い	古き良きものが多い	街並み・景観が美しい	公園などがよく整備されている	その他	特に理由はない	無回答
合計		1283	722	440	343	127	53	63	112	116	206	184	10
		100.0	56.3	34.3	26.7	9.9	4.1	4.9	8.7	9.0	16.1	14.3	0.8
居住地域	本庁管内(中央地域)	290	114	132	100	33	12	14	11	14	45	50	1
		100.0	39.3	45.5	34.5	11.4	4.1	4.8	3.8	4.8	15.5	17.2	0.3
	元八王子・恩方・川口(西部地域)	204	114	28	34	24	12	17	4	4	42	38	2
		100.0	55.9	13.7	16.7	11.8	5.9	8.3	2.0	2.0	20.6	18.6	1.0
	浅川・横山・館(西南部地域)	267	175	116	85	28	8	15	19	14	43	29	2
		100.0	65.5	43.4	31.8	10.5	3.0	5.6	7.1	5.2	16.1	10.9	0.7
	加住・石川(北部地域)	87	45	21	10	8	5	4	2	3	19	17	1
	100.0	51.7	24.1	11.5	9.2	5.7	4.6	2.3	3.4	21.8	19.5	1.1	
由井・北野(東南部地域)	188	109	68	41	19	8	5	19	17	29	28	1	
	100.0	58.0	36.2	21.8	10.1	4.3	2.7	10.1	9.0	15.4	14.9	0.5	
由木・由木東・南大沢(東部地域)	219	154	65	66	12	7	7	57	64	25	19	1	
	100.0	70.3	29.7	30.1	5.5	3.2	3.2	26.0	29.2	11.4	8.7	0.5	

「緑が多く自然に恵まれている」は由木・由木東・南大沢(東部地域)で7割に達し、割合が最も高くなっている。一方、本庁管内(中央地域)では39.3%となっている。

「交通の便が良い」と「買い物に便利」は、本庁管内(中央地域)で最もポイントが高く、またこの地域と元八王子・恩方・川口(西部地域)は「地域住民の連帯感が強い」のポイントが高くなっている。

「公園などがよく整備されている」と「街並み・景観が美しい」は由木・由木東・南大沢(東部地域)のポイントが他地域に比べて突出して高くなっており、特に前者においては約30%に達している。

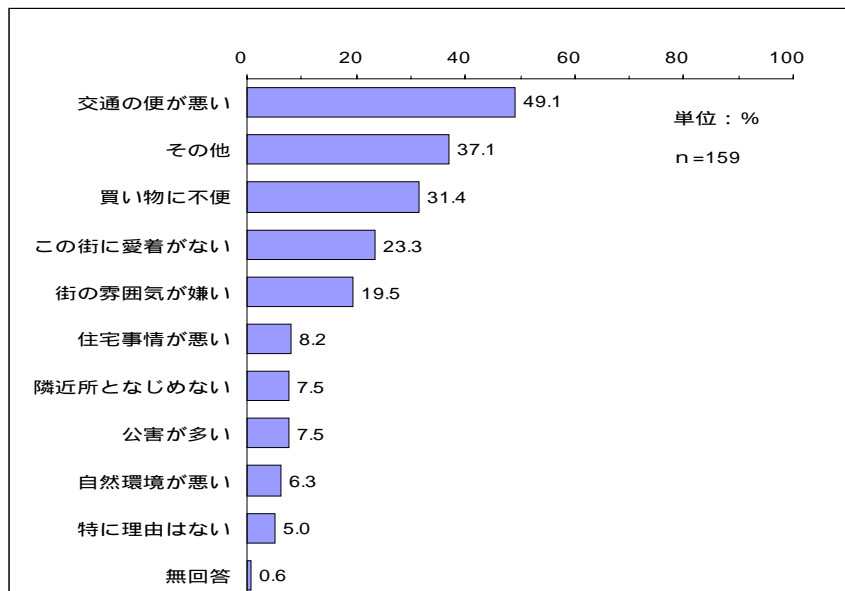
地域的な特徴をみると、本庁管内(中央地域)の住民は「交通の便が良い」「買い物に便利」「地域住民の連帯感が強い」と感じており、由木・由木東・南大沢(東部地域)は「緑が多く自然に囲まれている」「街並み・景観が美しい」「公園などがよく整備されている」と感じていることが分かる。

### (3) 市外へ移りたい理由

#### 「交通の便が悪い」が約半数でトップ

(問1で、「3 市外へ移りたい」とお答えの方に)

問1-2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。( は3つまで)



市外へ移りたい理由としては、「交通の便が悪い」から(49.1%) というものが最も多く、約半数を占めている。

「買い物に不便」は31.4%で第3位、続いて「この街に愛着がない」(23.3%)、「街の雰囲気が嫌い」(19.5%)となっている。

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	自然環境 が悪い	交通の便 が悪い	買い物に 不便	隣近所と なじめない	この街に 愛着がない	住宅事情 が悪い	公害が多 い	街の雰囲 気が嫌い	その他	特に理由 はない	無回答
合計		159	10	78	50	12	37	13	12	31	59	8	1
		100.0	6.3	49.1	31.4	7.5	23.3	8.2	7.5	19.5	37.1	5.0	0.6
F1 性別	男性	59	4	31	15	6	12	6	4	12	26	1	0
	女性	99	6	47	35	6	25	7	8	19	33	6	1
		100.0	6.1	47.5	35.4	6.1	25.3	7.1	8.1	19.2	33.3	6.1	1.0
F2 年齢	20歳代	42	4	22	11	3	9	3	3	5	15	3	0
		100.0	9.5	52.4	26.2	7.1	21.4	7.1	7.1	11.9	35.7	7.1	0.0
	30歳代	38	2	20	12	2	8	4	2	12	16	0	0
		100.0	5.3	52.6	31.6	5.3	21.1	10.5	5.3	31.6	42.1	0.0	0.0
	40歳代	32	1	16	9	3	13	1	4	7	11	1	0
		100.0	3.1	50.0	28.1	9.4	40.6	3.1	12.5	21.9	34.4	3.1	0.0
	50歳代	20	2	9	7	0	1	1	2	4	9	3	0
	100.0	10.0	45.0	35.0	0.0	5.0	5.0	10.0	20.0	45.0	15.0	0.0	
60~64歳	9	0	4	5	2	2	0	1	0	2	0	0	
	100.0	0.0	44.4	55.6	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	
65歳以上	16	1	7	6	2	4	4	0	3	6	0	0	
	100.0	6.3	43.8	37.5	12.5	25.0	25.0	0.0	18.8	37.5	0.0	0.0	



【性別】

「買い物に不便」、「この街に愛着がない」、「特に理由はない」の項目では女性の方が男性よりもポイントが高くなっており、「交通の便が悪い」、「隣近所となじめない」などでは逆に男性の方がポイントが高くなっている。

【年齢別】

「交通の便が悪い」は、年齢が上昇するとともに割合が徐々に小さくなっていった。

「買い物に不便」は、60～64歳の割合が大きくなっている。

65歳以上の人では「住宅事情が悪い」のポイントが高くなっている。

【居住地域別】

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	自然環境 が悪い	交通の便 が悪い	買い物に 不便	隣近所と なじめない	この街に 愛着がない	住宅事情 が悪い	公害が多 い	街の雰 囲気が嫌 い	その他	特に理由 はない	無回答
合計		159 100.0	10 6.3	78 49.1	50 31.4	12 7.5	37 23.3	13 8.2	12 7.5	31 19.5	59 37.1	8 5.0	1 0.6
F9 居住 地域	本庁管内(中央地 域)	35 100.0	5 14.3	13 37.1	7 20.0	2 5.7	7 20.0	3 8.6	2 5.7	10 28.6	16 45.7	1 2.9	0 0.0
	元八王子・恩方・ 川口(西部地域)	31 100.0	0 0.0	20 64.5	8 25.8	4 12.9	13 41.9	2 6.5	0 0.0	8 25.8	8 25.8	3 9.7	0 0.0
	浅川・横山・館 (西南部地域)	18 100.0	1 5.6	7 38.9	7 38.9	2 11.1	3 16.7	2 11.1	2 11.1	4 22.2	2 11.1	2 11.1	0 0.0
	加住・石川(北部 地域)	21 100.0	1 4.8	13 61.9	10 47.6	0 0.0	4 19.0	2 9.5	5 23.8	3 14.3	11 52.4	0 0.0	0 0.0
	由井・北野(東南 部地域)	27 100.0	1 3.7	16 59.3	13 48.1	2 7.4	4 14.8	2 7.4	2 7.4	4 14.8	8 29.6	1 3.7	0 0.0
	由木・由木東・南 大沢(東部地域)	22 100.0	1 4.5	7 31.8	4 18.2	2 9.1	6 27.3	1 4.5	0 0.0	2 9.1	11 50.0	1 4.5	0 0.0

「交通の便が悪い」は元八王子・恩方・川口(西部地域)で最もポイントが高く、65%弱となっている。「買い物に不便」は由井・北野(東南部地域)や加住・石川(北部地域)でポイントが高くなっている。

「この街に愛着がない」のポイントが高いのは元八王子・恩方・川口(西部地域)、「街の雰囲気嫌い」のポイントが高いのは本庁管内(中央地域)である。

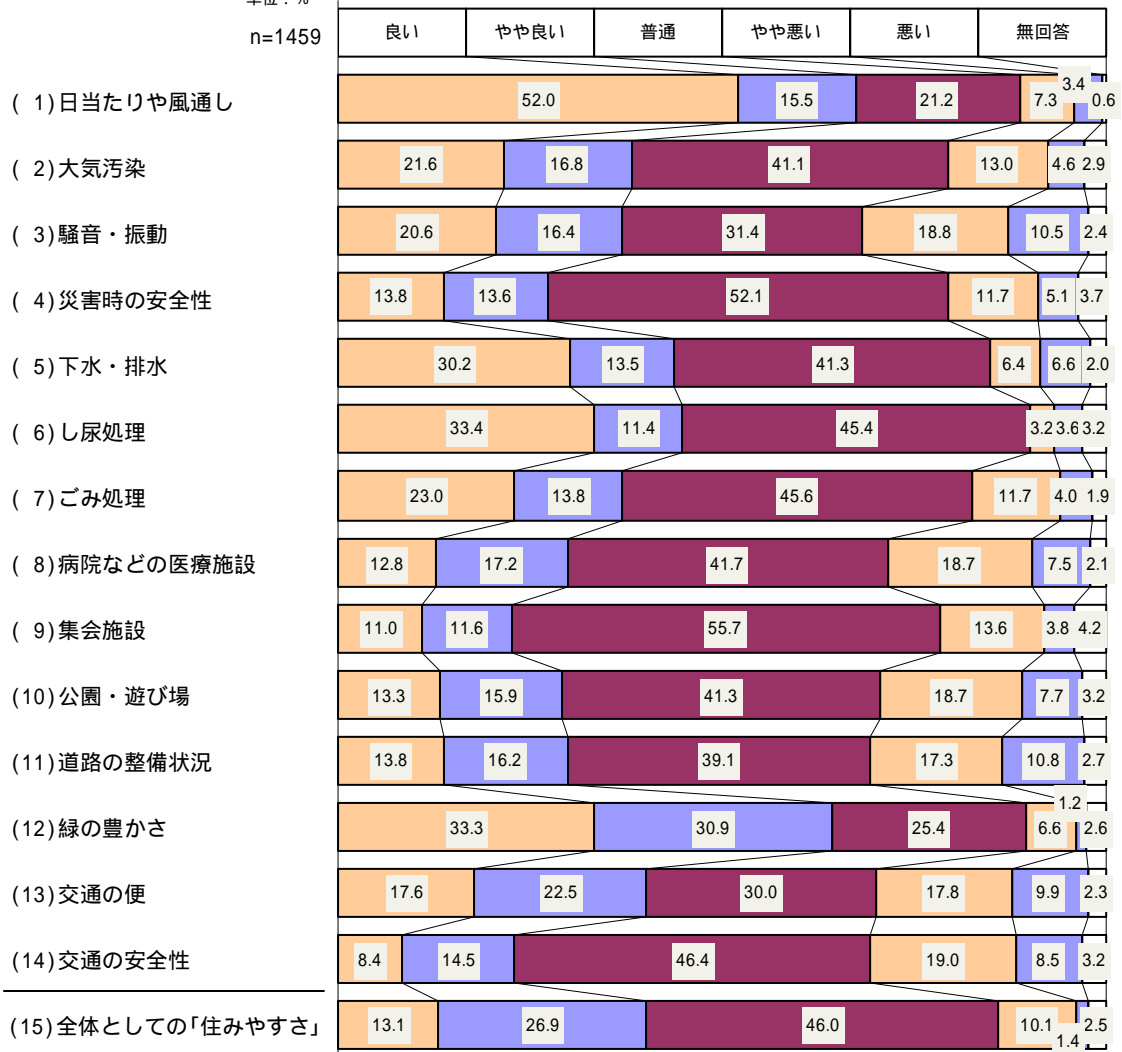
## 2 生活環境

### (1) 生活環境の評価

「日当たりや風通し」(半数超)「緑の豊かさ」は評価が高い  
 「騒音・振動」、「道路の整備」、「交通」などが課題

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。(1)～(15)の各項目それぞれについてお答えください。( はそれぞれ1つつ)

単位：％  
 n=1459



生活環境の評価をみると特に満足度が高い(「良い」、「やや良い」の合計の割合が大きい)のは、「日当たりや風通し」と「緑の豊かさ」であることが分かる。

他方、「騒音・振動」、「道路の整備状況」、「交通の便」、「交通の安全性」などで満足度が低く(「やや悪い」、「悪い」の合計の割合が大き)くなっている。

全体としての「住みやすさ」の感覚としては、「普通」とした人が最も多くなっている(46.0%)。また、「良い」、「やや良い」を合わせると4割の人が住みやすいと感じていることが分かる。

### 【詳細な分析】

生活環境を 15 の項目に分けて、それぞれの評価をきいた。

「良い」と「やや良い」を合算して“良い”、「やや悪い」と「悪い」を合算して“悪い”と分類し、それぞれの上位 5 項目ずつを列挙すると、次のようになる。

#### “良い”

---

日当たりや風通し.....	67.5%
緑の豊かさ.....	64.2
し尿処理.....	44.8
下水・排水.....	43.7
交通の便.....	40.1

#### “悪い”

---

騒音・振動.....	29.3%
道路の整備状況.....	28.1
交通の便.....	27.7
交通の安全性.....	27.5
公園・遊び場.....	26.4

なお、全体としての「住みやすさ」では、“良い”が4割(40.0%)、「悪い”が1割強(11.5%)で、“良い”の方が多くなっている。

#### ～加重平均値(満足度)～

生活環境を比率でみるのとは別に、比較をより明確にするために、「加重平均値」による数量化を試みた。これは、下記の計算式にあるように、評価にそれぞれ点数を与えて評価点を算出する方法である。

$$\begin{aligned} & \text{「良い」の回答者数} \times 5 \text{点} \\ & + \text{「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点} \\ & + \text{「普通」の回答者数} \times 3 \text{点} \\ & + \text{「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ & + \text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点} \\ \text{評価点} = & \frac{\hspace{15em}}{\text{回答者数}} \end{aligned}$$

この算出方法では、評価点は 5.00 点～1.00 点の間に分布し、中間点の 3.00 点を境として、5.00 点に近くなるほど満足度は高く、逆に 1.00 点に近くなるほど満足度は低いことになる。

これによる評価点の高いものと低いものの上位5項目は、次のようになる。

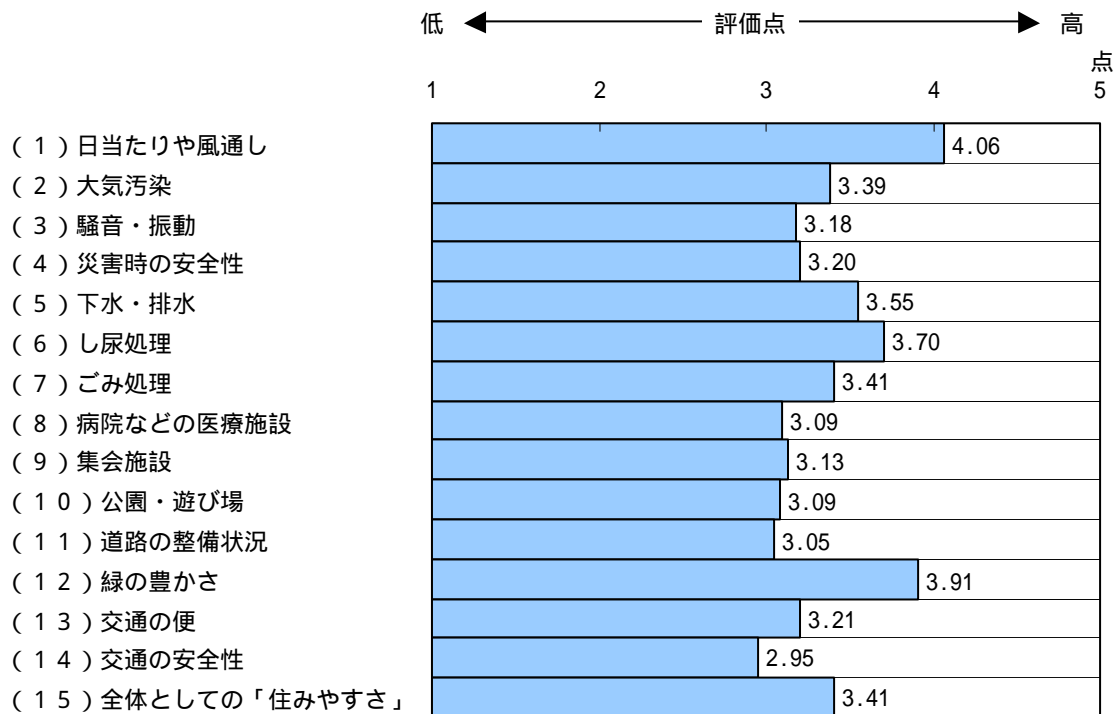
高いもの

日当たりや風通し.....	4.06 点
緑の豊かさ.....	3.91
し尿処理.....	3.70
下水・排水.....	3.55
ごみ処理.....	3.41

低いもの

交通の安全性.....	2.95 点
道路の整備状況.....	3.05
公園・遊び場.....	3.09(3.087)
病院などの医療施設.....	3.09(3.094)
集会施設.....	3.13

生活環境の評価点(全体)



なお、全体としての「住みやすさ」の評価点は、「3.41」点となっている。

居住地域別評価点

(点)

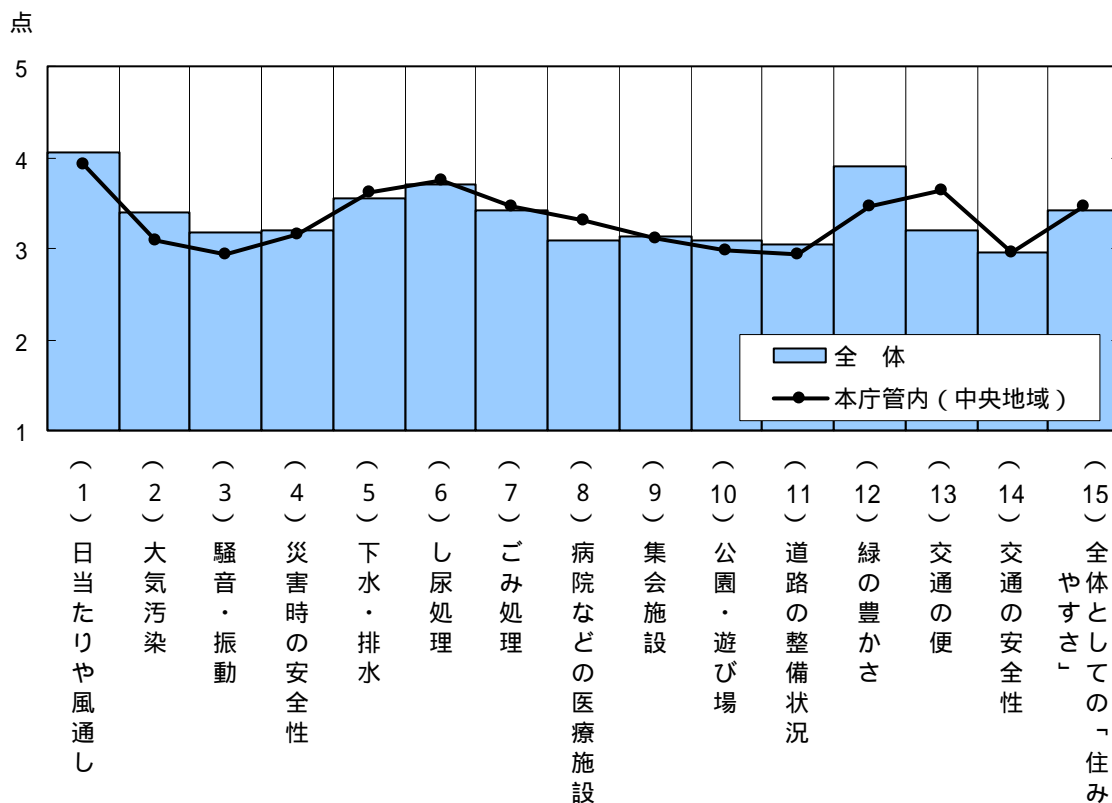
項目	全 体	居住地域					
		本庁管内 (中央地域)	元八王子・恩方・川口 (西部地域)	浅川・横山・館 (西南部地域)	加住・石川 (北部地域)	由井・北野 (東南部地域)	由木・由木東・南大沢 (東部地域)
(1) 日当たりや風通し	4.06	3.93	4.07	4.10	3.89	3.97	4.34
(2) 大気汚染	3.39	3.08	3.62	3.41	2.91	3.46	3.74
(3) 騒音・振動	3.18	2.93	3.47	3.24	2.55	3.38	3.32
(4) 災害時の安全性	3.20	3.15	3.18	3.30	3.14	3.02	3.39
(5) 下水・排水	3.55	3.61	3.10	3.61	3.30	3.67	3.87
(6) し尿処理	3.70	3.75	3.27	3.81	3.50	3.79	3.94
(7) ごみ処理	3.41	3.47	3.21	3.54	3.30	3.35	3.52
(8) 病院などの医療施設	3.09	3.32	2.71	3.33	3.22	2.85	3.02
(9) 集会施設	3.13	3.12	3.00	3.23	2.92	3.05	3.31
(10) 公園・遊び場	3.09	2.98	2.78	3.21	2.61	2.98	3.69
(11) 道路の整備状況	3.05	2.94	2.35	3.22	2.77	3.09	3.80
(12) 緑の豊かさ	3.91	3.46	4.06	4.10	3.75	3.83	4.35
(13) 交通の便	3.21	3.64	2.36	3.40	2.71	3.18	3.43
(14) 交通の安全性	2.95	2.95	2.45	3.09	2.55	3.00	3.40
(15) 全体としての「住みやすさ」	3.41	3.46	3.12	3.55	3.05	3.34	3.73

は、各項目内の最高値  
 は、各項目内の最低値

次に、15 項目の評価の加重平均値を、居住地域ごとに、市全体と対比させたグラフを表示する。

市全体と居住地域別の満足度評価の比較（加重平均値による）

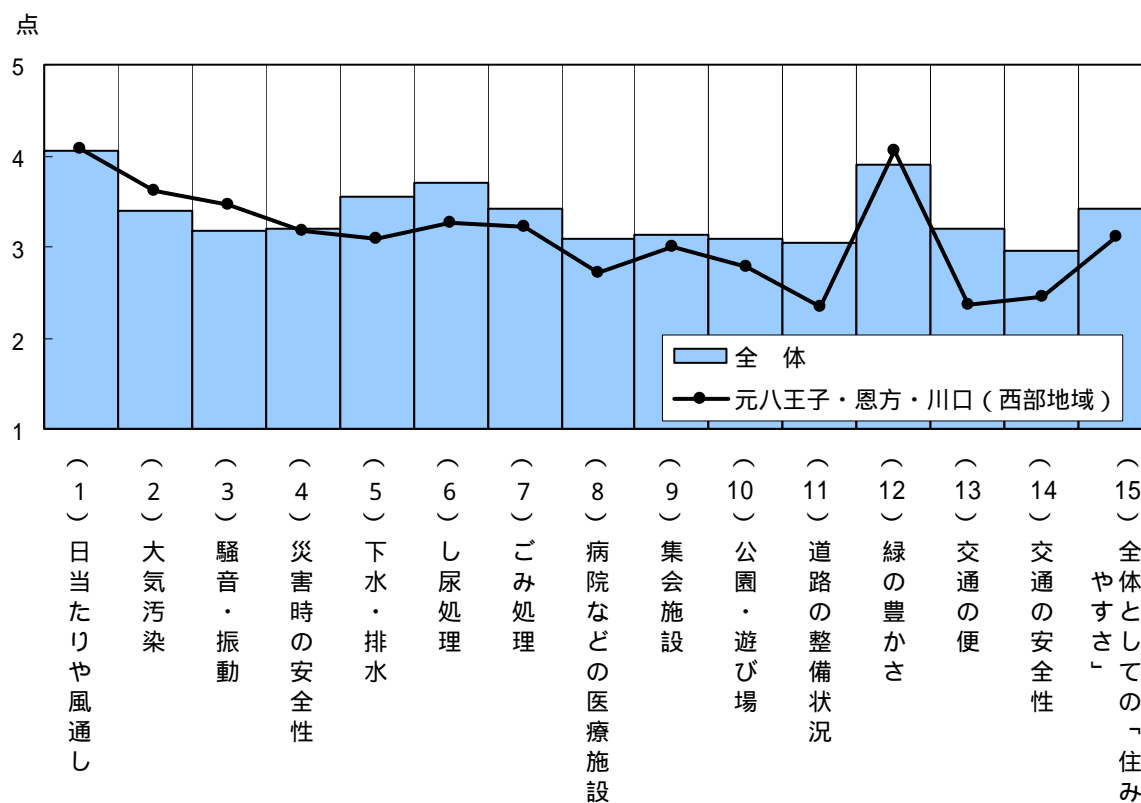
《本庁管内（中央地域）》



市全体と比較して、「交通の便」が市全体を大きく上回り、差は0.43ポイントとなっている。また「病院などの医療施設」も、市全体を0.23ポイント上回っている。逆に、15項目中8項目が市全体を下回っており、差が大きいのは「緑の豊かさ」(0.45ポイント差)、「大気汚染」(0.31ポイント差)などである。

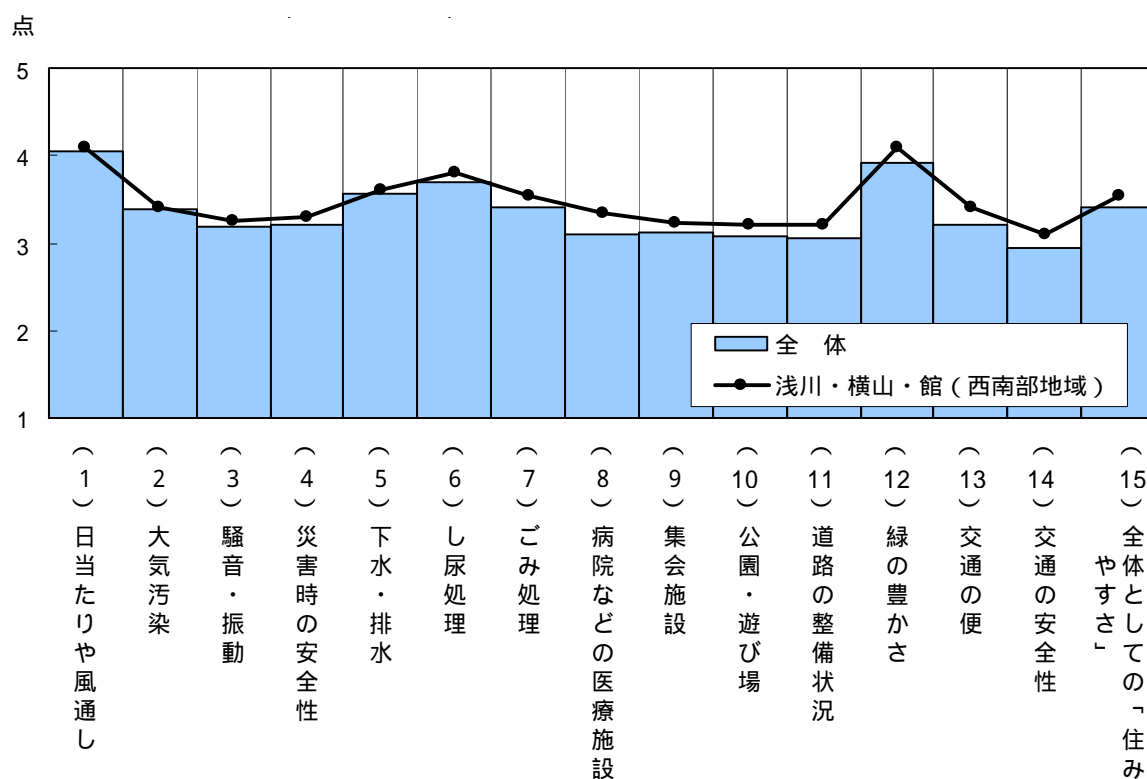
なお、「緑の豊かさ」は6地域中で最も評価点が低く、反対に「交通の便」は6地域中で最も評価が高くなっている。

《元八王子・恩方・川口（西部地域）》



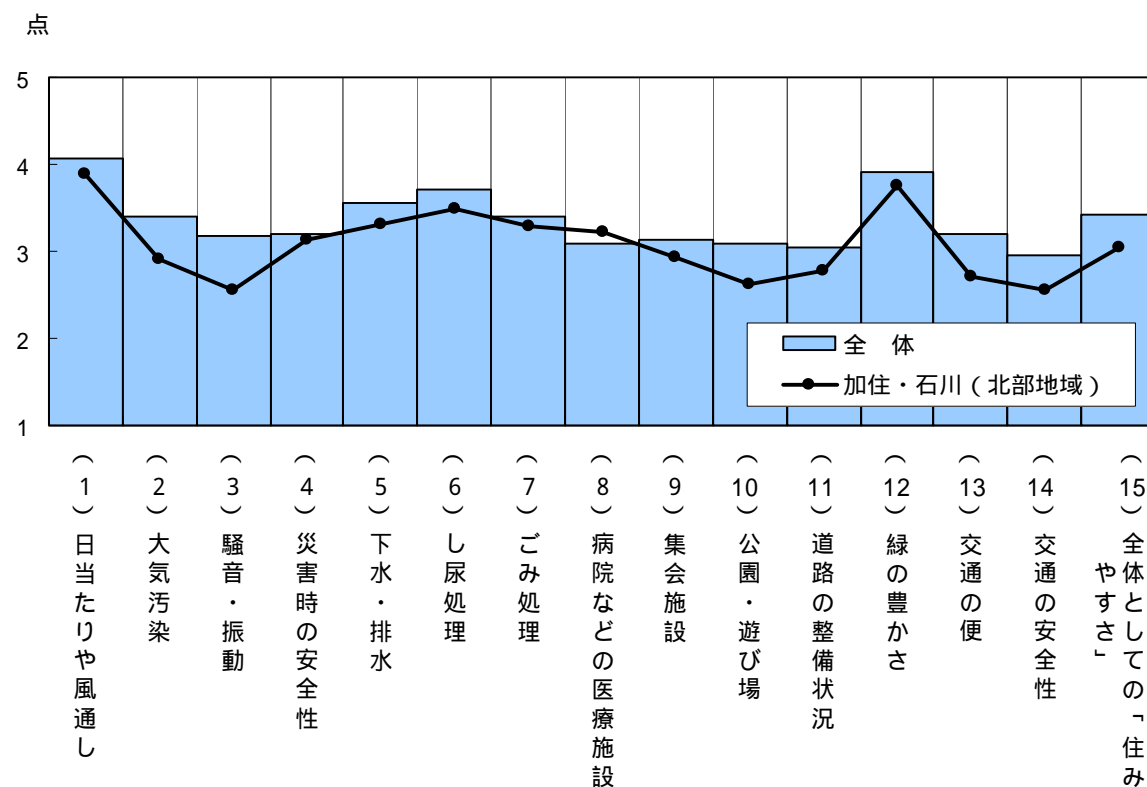
市全体と比べて、「大気汚染」(0.23ポイント差)と「騒音・振動」(0.29ポイント差)では評価点が市全体をかなり上回っており、特に「騒音・振動」は6地域中で最も評価が高くなっている。しかし、そのほか「日当たりや風通し」、「緑の豊かさ」を除いて評価点が市全体を下回る項目が多くみられ、「下水・排水」、「し尿処理」、「ごみ処理」、「病院などの医療施設」、「道路の整備状況」、「交通の便」、「交通の安全性」の7項目では、6地域中で最も評価が低くなっている。

《浅川・横山・館（西南部地域）》



15項目全項目において市全体の評価点を上回り、傾向としては市全体とよく似たグラフを描いている。この地域の住民は全体的に住みやすいと感じていることが分かる。

《加住・石川（北部地域）》

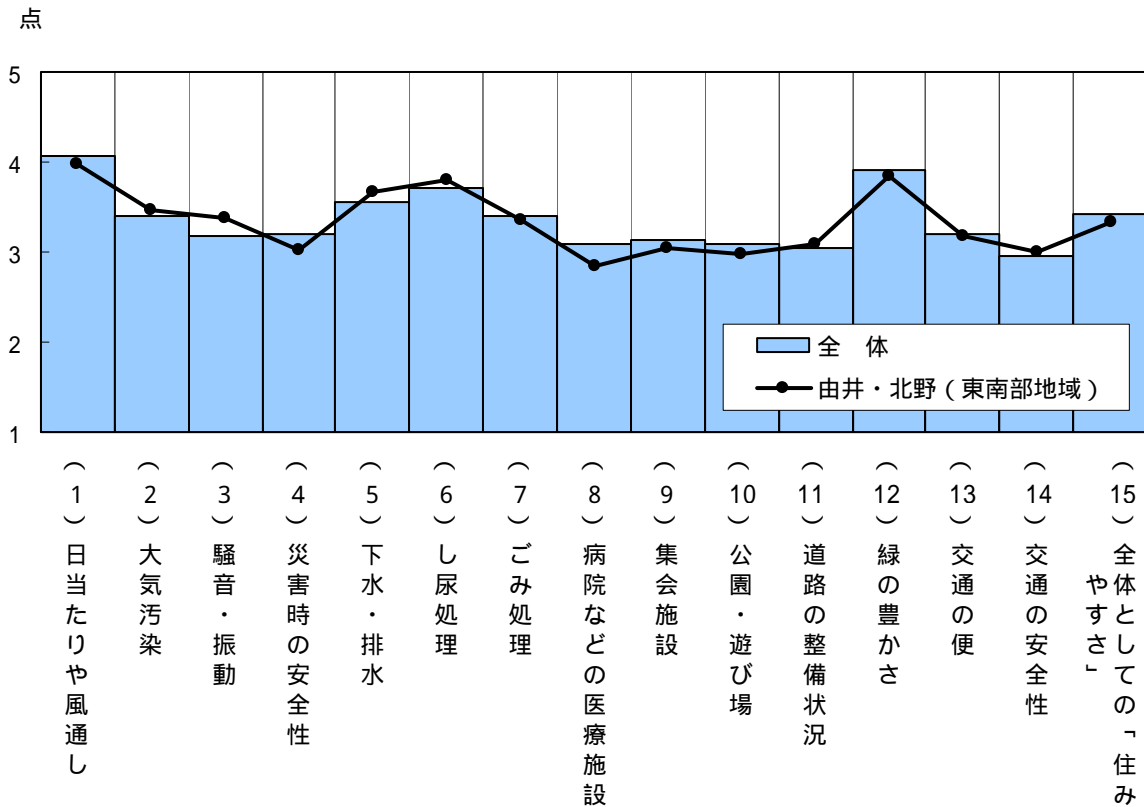




「病院などの医療施設」で0.13ポイント上回っているほかでは、15項目中14項目で市全体の評価点を下回っている。

なお「日当たりや風通し」、「大気汚染」、「騒音・振動」、「集会施設」、「公園・遊び場」、そして「全体としての『住みやすさ』」の6項目においては、6地域中で最も評価が低くなっている。

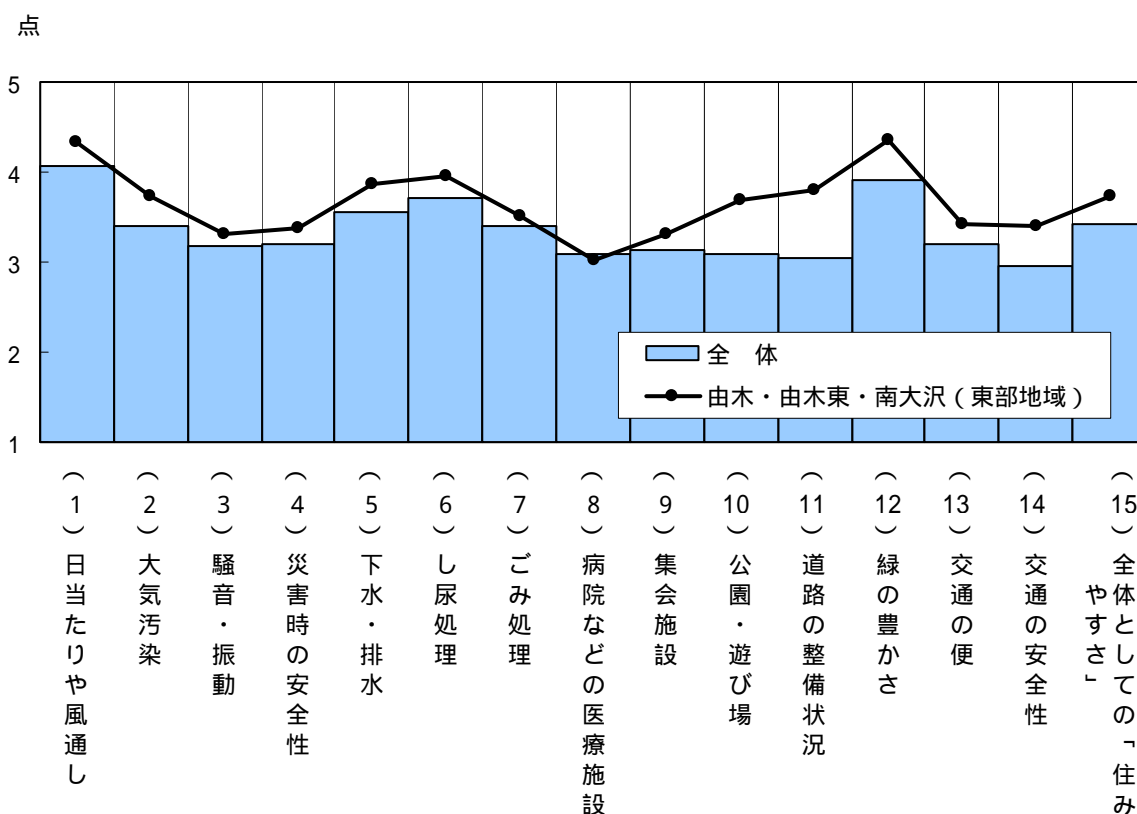
《由井・北野（東南部地域）》



市全体と似たような傾向のグラフを描いているが、6項目では市全体の評価点を上回り、逆に「全体としての『住みやすさ』」を含む9項目で市全体を下回っている。市全体の満足度と開きがある項目として、「騒音・振動」(0.20ポイント上)、「災害時の安全性」(0.18ポイント下)、「病院などの医療施設」(0.24ポイント下)などが挙げられる。

また、「災害時の安全性」については、6地域中で最も評価が低くなっている。

《由木・由木東・南大沢（東部地域）》



調査項目全 15 項目中、「病院などの医療施設」(0.07 ポイント下)を除く 14 項目で市全体の評価点を上回っており、また、「大気汚染」、「緑の豊かさ」、「道路の整備状況」、「公園・遊び場」などの 10 項目において 6 地域中で最も評価が高くなっている。6 地域中、最も満足度の高い地域だと考えられる。

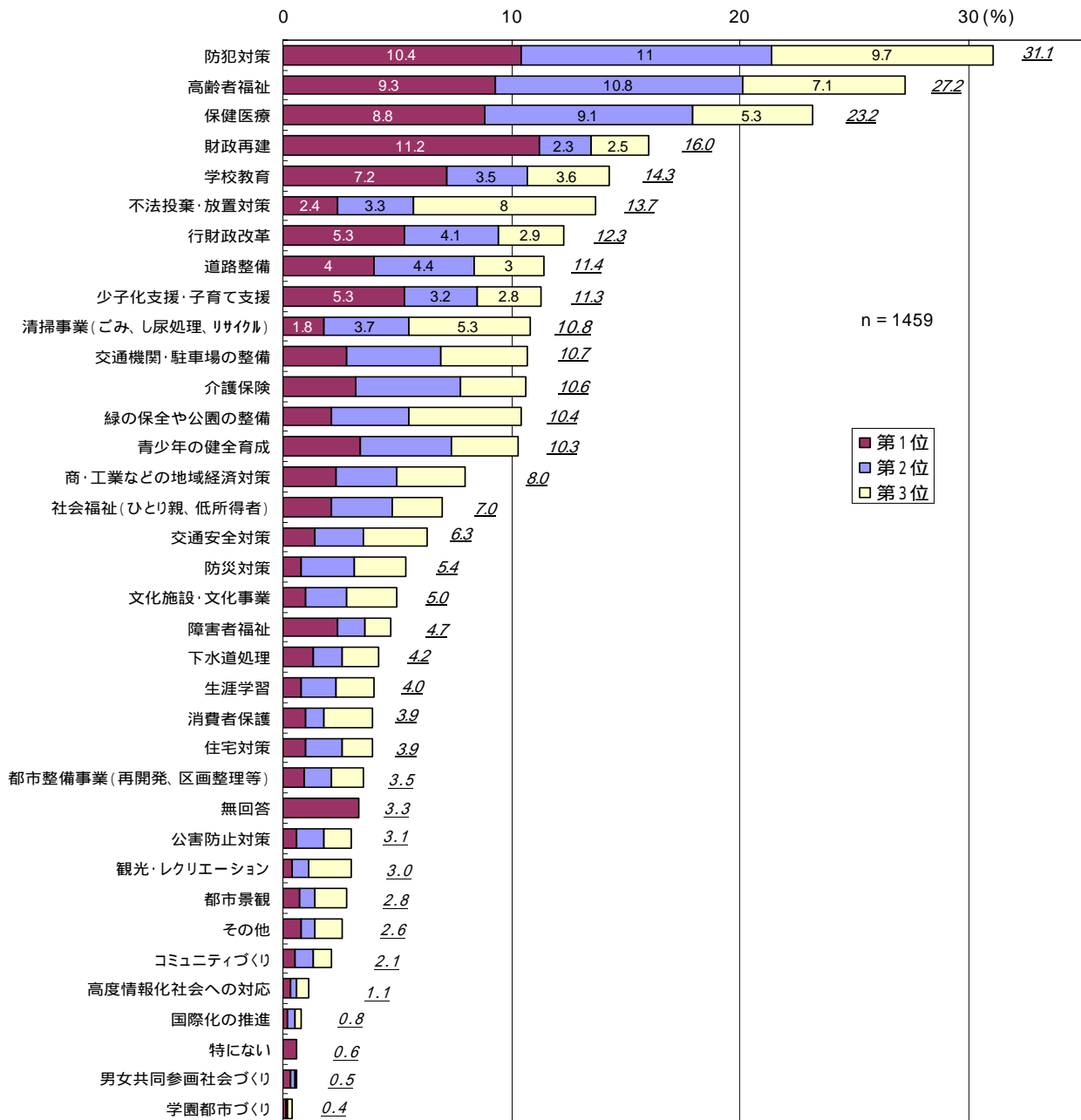
市全体の評価点を大きく上回る項目としては、「道路の整備状況」(0.75 ポイント差)、「公園・遊び場」(0.60 ポイント差)などが挙げられる。

### 3 市政への要望

#### (1) 重点施策要望

「防犯対策」、「高齢者福祉」、「保健医療」などがポイント

問3 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の1～34の中から第1位、第2位、第3位と順位をつけて3つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。  
(それぞれ1つずつ)



\*紙面の都合上、上位10項目のみ、第3位までの内訳を記載した。なお、グラフ中、斜字体の数字は「総合」ポイントを表している。

「第1位」単独で最も多いのは「財政再建」(11.2%)で、次いで「防犯対策」(10.4%)、「高齢者福祉」(9.3%)などが多くなっている。

「第2位」では、「防犯対策」(11.0%)、「高齢者福祉」(10.8%)、「保健医療」(9.1%)などが、「第3位」では「防犯対策」(9.7%)、「不法投棄・放置対策」(8.0%)、「高齢者福祉」(7.1%)などが、それぞれ多くなっている。

「第1位」から「第3位」までを合算した「総合」では、「防犯対策」(31.1ポイント)が最も高く、「高齢者福祉」(27.2ポイント)、「保健医療」(23.2ポイント)、「財政再建」(16.0ポイント)などが多く望まれていることが分かる。

【経年変化】

(単位：%)

年 順位	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年
第 1 位	高齢者福祉 34.7	高齢者福祉 30.6	防犯対策 31.1
第 2 位	保健医療 33.7	防犯対策 26.6	高齢者福祉 27.2
第 3 位	財政再建 20.2	保健医療 22.4	保健医療 23.2
第 4 位	介護保険 14.6	財政再建 18.5	財政再建 16.0
第 5 位	学校教育 14.4	行財政改革 16.2	学校教育 14.3
第 6 位	行財政改革 13.4	不法投棄・放置対策 15.1	不法投棄・放置対策 13.7
第 7 位	社会福祉 12.9	学校教育 11.8	行財政改革 12.3
第 8 位	不法投棄・放置対策 12.8	青少年の健全育成 /	道路整備 11.4
第 9 位	青少年の健全育成 11.7	介護保険 11.2	少子化対策・子育て 支援 11.3
第 10 位	道路整備 11.5	清掃事業 10.5	清掃事業 10.8

「防犯対策」は平成 15 年からの新規項目。

第1位から第3位までの割合の「総合」ポイントの経年変化をみると、今回は「防犯対策」が第1位になり「高齢者福祉」が第2位に下がって、前回とは第1位と第2位が入れ替わっている。第5位「学校教育」と第7位「行財政改革」についても入れ替わりがみられる。

また、第3位「保健医療」、第4位「財政再建」、第6位「不法投棄・放置対策」及び第10位「清掃事業」については、その順位を変えていないことが分かる。

「少子化対策・子育て支援」が新たに第9位に入ってきている。

## 【性別】

( % )

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	防犯対策 32.4	高齢者福祉 24.7	保健医療 21.7	財政再建 18.2	行財政改革 15.6
女性	防犯対策 30.4	高齢者福祉 29.2	保健医療 24.4	学校教育 15.7	不法投棄・放置対策 13.4

男女ともに第1位「防犯対策」から第3位「保健医療」までは共通しているが、第4、5位は、男性では「財政再建」、「行財政改革」であるのに対して女性では「学校教育」、「不法投棄・放置対策」が挙げられており、異なっている。

また、第1位「防犯対策」では男性のポイントが女性よりも高いのに対し、第2位「高齢者福祉」や第3位「保健医療」では、女性のポイントの方が高くなっている。

## 【性 / 年齢別】

( % )

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 20歳代	防犯対策 32.9	交通機関・ 駐車場の整備 24.1	道路整備 21.5	財政再建 20.3	緑の保全や 公園の整備 17.7
30歳代	防犯対策 43.7	学校教育 / 少子化対策・ 子育て支援 21.4	保健医療 19.4	交通機関・ 駐車場の整備 15.5	保健医療 19.4
40歳代	防犯対策 36.7	学校教育 22.4	保健医療 20.4	財政再建 18.4	清掃事業 17.3
50歳代	高齢者福祉 27.9	保健医療 27.1	防犯対策 24.0	不法投棄・ 放置対策 20.2	財政再建 18.6
60～64歳	高齢者福祉 38.2	行財政改革 28.9	防犯対策 27.6	財政再建 23.7	保健医療 21.1
65歳以上	高齢者福祉 40.9	防犯対策 30.9	保健医療 26.8	行財政改革 16.8	財政再建 16.1
女性 20歳代	防犯対策 32.3	少子化対策・ 子育て支援 26.0	交通機関・ 駐車場の整備 19.8	保健医療 17.7	道路整備 16.7
30歳代	防犯対策 34.3	少子化対策・ 子育て支援 33.1	学校教育 26.5	保健医療 19.3	清掃事業 17.5
40歳代	防犯対策 33.6	学校教育 30.4	保健医療 / 高齢者福祉 27.2	保健医療 19.3	財政再建 20.8
50歳代	高齢者福祉 34.6	防犯対策 31.5	保健医療 23.5	介護保険 19.1	行財政改革 16.7
60～64歳	高齢者福祉 37.6	保健医療 30.1	防犯対策 25.8	介護保険 22.6	財政再建 19.4
65歳以上	高齢者福祉 46.9	保健医療 28.3	防犯対策 22.8	介護保険 19.3	不法投棄・ 放置対策 17.2

男性・女性とも、最も多い項目は、20歳代、30歳代、40歳代では「防犯対策」、それ以上の年代では「高齢者福祉」となっており、各年代の関心事を反映した結果となっている。特に「高齢者福祉」では、男性・女性いずれにおいても年齢が上がるとともにポイントも上昇する傾向がみられる。また、「防犯対策」については男性・女性ともに30歳代でもっともポイントが高くなっている。なお、「保健医療」も、男性の20歳代を除くすべての年代で5位までに入っている。

また、女性では50歳代、60～64歳、65歳以上の年齢の層で、「介護保険」がいずれも第4位に入っている。30歳代、40歳代の層では男女いずれにおいても、「少子化対策・子育て支援」や「学校教育」など、その年齢層に特徴的な項目が上位に入っている。

### 【居住地域別】

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
本庁管内 (中央地域)	防犯対策 30.2	高齢者福祉 25.7	保健医療 24.2	財政再建 16.6	学校教育 15.7
元八王子・ 恩方・川口 (西部地域)	道路整備 26.2	高齢者福祉 24.5	防犯対策 20.3	保健医療 18.6	不法投棄・ 放置対策 17.3
浅川・横山 ・館 (西南部地域)	高齢者福祉 32.3	防犯対策 27.8	保健医療 23.3	財政再建 20.5	学校教育 13.2
加住・石川 (北部地域)	防犯対策 32.7	高齢者福祉 22.7	不法投棄・ 放置対策 19.1	道路整備 18.2	保健医療/少子化 対策・子育て支援 14.5
由井・北野 (東南部地域)	防犯対策 38.4	高齢者福祉 31.9	保健医療 28.2	財政再建 19.4	学校教育 16.7
由木・由木東 ・南大沢 (東部地域)	防犯対策 40.9	保健医療 26.4	高齢者福祉 25.6	不法投棄・ 放置対策 19.0	学校教育 16.1

最も多く選ばれた項目は、本庁管内(中央地域)、加住・石川(北部地域)、由井・北野(東南部地域)、由木・由木東・南大沢(東部地域)の4地域においては「防犯対策」、元八王子・恩方・川口(西部地域)においては「道路整備」、浅川・横山・館(西南部地域)においては「高齢者福祉」である。「防犯対策」は、特に由木・由木東・南大沢(東部地域)においては4割強を占めており、また、由井・北野(東南部地域)でも4割近くに達していて、非常に関心が高い。

元八王子・恩方・川口(西部地域)と加住・石川(北部地域)では、「道路整備」が第1位と第4位にそれぞれ入っている。また、「高齢者福祉」は、すべての地域において第3位までに入っている。